

平成26年度事務事業評価及び特定分野評価（補助金）
に係る改善計画書

事業名	内外情勢調査会負担金				
所管課名	総務課	課長名	大成 敦夫		
事業の目的と実施内容					
目的	首長の政策決定・判断能力等の向上				
内容・方法	調査資料等刊行物の提供、政財界等の有識者による講演会や交流会等を実施している内外情勢調査会に対する負担金（会費）の負担 （参考）県央地区加入市町村：相模原市・厚木市・大和市・海老名市・秦野市・清川村・愛川町				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	改善	1次	改善	2次	－
今後の方向性に係る意見等（最終）			町の最終方針		
負担先団体から得られる情報を有効活用すべきである。			会合へ出席し、負担先団体から得られる情報を有効活用していく。		
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期（期限）	具体的な改善等の内容			
町長の意思確認	H26.12	本事業の目的を踏まえ、当該団体への加入可否に係る町長の意思確認を行う。 （加入「継続」を確認。会合への参加を促進し、得られた情報を有効活用していく。→予算措置）			
講演会・交流会等への参加	H28.3	町長をはじめ幹部職員も含め、本町にとって有益な講演会・交流会等には積極的に参加をしていく。			
有益情報の収集及び分配	H28.3	講演会・交流会等への参加により得られる情報及び当該団体が発信する有益情報（機関紙等）を収集し、関係部署へ提供していく。			
費用対効果の検証	H27.12	平成27年度の状況を踏まえ、再検証する。			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H26)	H27	H28	
内外情勢調査会が主催する講演会への参加回数	回	0	4	6	
目標とする成果の設定理由	町政に役立てるための情報源たる講演会への参加状況を指標とする。				
4 経費等の見込み					
		H26	H27	H28	
事業費（予算） 単位：千円		195	195	195	
概算職員数 単位：人					

5 改善等工程表

[illegible]